

2012年11月6日

企業会計基準委員会と国際会計基準審議会の代表者による定期協議の開催

企業会計基準委員会
国際会計基準審議会

企業会計基準委員会（ASBJ）と国際会計基準審議会（IASB）の代表者は、2012年10月29日と30日に、ロンドンで会合を開催いたしました。本会合は、ASBJとIASBが定期的に行っているもので、今回で第16回目となりました。

本会合において ASBJ と IASB の代表者は、IASB と米国財務会計基準審議会（FASB）が現在審議を行っている以下のプロジェクトの状況について議論しました。

- 金融商品：分類及び測定（IASB と FASB の直近の暫定的な決定等）
- 金融商品：減損（IASB と FASB の直近の暫定的な決定等）
- 収益認識（再審議の状況等）
- リース（2013 年第 1 四半期に公表予定の再公開草案に向けた最近の検討状況等）

これらの項目に加え、ASBJ と IASB は、IASB の将来のアジェンダに関連した、いくつかのリサーチ・テーマについても議論をいたしました。

ASBJ と IASB の代表者はまた、高品質なグローバル会計基準の開発のために、今後も緊密な連携を図ることを再確認しました。

西川郁生ASBJ委員長は次のように述べています。

「最終化が近づいているプロジェクトも含め、IASB の重要なプロジェクトについて意見交換ができたことは大変有意義であった。ASBJ は、IASB が今後開発していく概念フレームワークなどに対してリサーチ活動も含めて積極的に関与していくとともに、引き続き高品質でグローバルな会計基準の開発に貢献していきたいと考えている。」

Hans Hoogervorst IASB議長は次のように述べています。

「本会合は、残りのコンバージェンス・プロジェクトの完了や我々の将来の計画など、双方にとって重要な項目についての意見交換を行うより良い機会であった。

今回も ASBJ との議論から非常に質の高いインプットを得た。我々の取組みとグローバルな会計基準という使命に対する ASBJ の継続的な支援に対し、深く感謝している。」

なお、次回の会合は 2013 年上期に東京で開催する予定です。

企業会計基準委員会 (ASBJ) について

ASBJ は、2001 年 7 月に民間部門の機関として設立された。ASBJ が開発した会計基準は、金融庁により一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJ は、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJ は、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。ASBJ に関する詳細な情報は、ホームページ <http://www.asb.or.jp/> をご参照いただきたい。

国際会計基準審議会 (IASB) について

IASB は、2001 年に設立され、独立した民間の非営利組織である国際財務報告基準 (IFRS) 財団内の基準設定機関である。IASB は、公益に資するよう、一般目的財務諸表において透明性があり比較可能な情報を提供する、1 組の高品質のグローバルな会計基準を開発することを公約している。この目的を追求するため、IASB は、広範にわたる公開の協議を行っているほか、世界中の国際機関や各国機関と協力している。15 名の常勤のメンバーは、10 か国から選ばれ、幅広い職務上の経歴を有している。2012 年までに 16 名の常勤のメンバーに拡大される。メンバーは、IFRS 財団の評議員会から選任されるとともに、これに対して説明責任を負っており、専門的な能力と、国際的なビジネス及び市場に関する経験の多様性に関して、選択し得る最良の組み合わせを選択することが要求されている。彼らの作業において、評議員会は、公的機関のモニタリング・ボードに対して説明責任を負っている。